

CML(慢性骨髄性白血病)のつどい

～CML 患者・家族の会「いずみの会」を迎えて～

かつて慢性骨髄性白血病は「急性転化をする前に骨髄移植」という治療が主流でしたが、現在は、経口薬（グリベック）でその病状をコントロールできるようになりました。しかし「一生、薬を飲み続けないといけないのか。」「本当にこの先、病状が悪化しないのか。」「経済的負担が重い。」また新薬の登場やインターネットの普及で情報が多岐にわたり、どの情報を信頼すれば良いか判断に迷うことがあります。

そこで、CML という病気そのものと治療法について正しい情報を理解するために、今回は、CML 患者・家族の会「いずみの会」をお迎えして、同じ病気と向き合う患者や家族が集まって、それぞれの体験や将来に対する思い、グリベック以外の薬や治療法など、様々な角度で考えてみたいと思います。今まで患者会に参加したことがないという方も、ぜひお足をお運びください。

【日 時】 2010年5月1日（土）

13:00～16:00（受付開始 12:30 より）

【場 所】 浜の町病院 別館5階 研修講堂

福岡市中央区舞鶴3丁目5番27号
（地下鉄1号線赤坂駅下車（1番出口）徒歩5分）

【参加費】 入場無料

予約の必要はありませんが、資料準備の都合上
下記問い合わせ先まで、ご一報ください。



♪ プログラム ♪

- 1、開会のことば
- 2、挨拶
「いずみの会」代表 田村英人様（CML歴7年）
- 3、講演
・浜の町病院 血液内科 衛藤徹也先生
「初代チロシンキナーゼ阻害剤（グリベック）について」
・原三信病院 血液内科 上村智彦先生
「第2世代チロシンキナーゼ阻害剤（タシグナ、スプリセル）について」
～ 休憩 ～
- 4、質疑応答
- 5、座談会
- 6、閉会のことば

※ 今回は医師による診察や個別相談は実施していません。

☆ お問い合わせは「リボンの会」 092-662-4869又は090-9400-5255(代表 宮地)まで。

主催 血液疾患を考える患者・家族の会「リボンの会」 共催 CML患者・家族の会「いずみの会」

後援 NPO法人 血液情報広場「つばさ」

賛助企業 ノバルティスファーマ(株)

